

(提案1)

【幹事会附置委員会】

IT環境整備推進委員会運営要綱を廃止する決定（案）

平成 年 月 日
日本学術会議第 回幹事会決定

IT環境整備推進委員会運営要綱（平成20年11月27日日本学術会議第68回幹事会決定）は、廃止する。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

I T 環境整備推進委員会の廃止について

平成 25 年 3 月 14 日
I T 環境整備推進委員会

本委員会は、第 21 期から幹事会の下で活動し、本期には平成 24 年 10 月 26 日の第 163 回幹事会で状況報告を行い、さらに検討を続けてきた。

第 22 期の検討事項は、次の 2 つである。

- ① 学術会議電子掲示板に関する活用方法
- ② 情報通信技術を利用した委員会等の審議、運営等

①については、会員・連携会員の全てが電子掲示板を利用できるようにすべく、会員・連携会員の全員に対して I D とパスワードを配布し、平成 24 年 5 月中旬から電子掲示板の利用を開始した。その後、幹事会資料の事前配布、新たに立ち上げる分科会の委員公募、及び声明を公表する前に行われる意見照会等にも活用されてきている。

②については、本委員会において、遠隔会議を低コストでできる方法で積み重ねた事例を基に検討を進め、会議開催の定足数などの規則改正を行う検討があるとの結論を導いたところであった。その後、平成 24 年度下半期に、委員の旅費が不足する見込みとなり、Skype 等を用いたビデオ会議の速やかな実現が求められた。幹事会による会議の定足数の取扱い等を定めた規則の制定、及び Skype によるビデオ会議の試行を重ねて、本年 1 月 15 日からビデオ会議を公式の会議として実施するに至った。

以上のように、学術会議の I T 環境整備について所期の目的を達したと考えられることから、本委員会を廃止することとしたい。

(提案 2)

○委員の決定（追加 1 件）

【幹事会附置委員会】

（原子力利用の将来像についての検討委員会 原子力学の将来検討分科会）

氏名	所属・職名	備考
柴田 徳思	千代田テクノル株式会社大洗研究所 研究主幹	連携会員
中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

(提案3)

分野別委員会運営要綱(平成23年9月1日日本学術会議第133回幹事会決定)の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎生物学委員会	基礎生物学委員会基礎生物学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間：平成25年3月22日～平成26年9月30日	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
統合生物学委員会	統合生物学委員会統合生物学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間：平成25年3月22日～平成26年9月30日	統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
農学委員会	農学委員会農学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間：平成25年3月22日～平成26年9月30日	農学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
食料科学委員会	食料科学委員会食料科学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間：平成25年3月22日～平成26年9月30日	食料科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎医学委員会	基礎医学委員会病原体研究に関するデュアルユース問題分科会	病原体研究およびそのバイオセキュリティーに係るデュアルユース問題の審議に関すること	10名以内の会員又は連携会員	設置期間：平成24年6月1日～平成26年3月31日	基礎医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

(新規設置)

(新規設置)

(新規設置)

(新規設置)

設置期間：
平成24年6月1日～平成25年3月31日

	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎医学委員会基礎医学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
臨床医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>(削除※廃止)</u>				
	(略)	(略)	(略)	(略)
臨床医学委員会臨床医学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
健康・生活科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
健康・生活科学委員会 健康・生活科学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
歯学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
歯学委員会歯学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
薬学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
薬学委員会薬学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	

	(略)	(略)	(略)	(略)
(新規設置)				
臨床医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
(新規設置)				
健康・生活科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
(新規設置)				
歯学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
(新規設置)				
薬学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
(新規設置)				

環境学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	(新規設置)
	<u>環境学委員会環境学分野の大型研究計画評価分科会</u>	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
数理科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	(新規設置)
	<u>数理科学委員会数理科学分野の参照基準検討分科会</u>	数理科学分野における教育課程編成上の参考基準の検討	20名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成24年1月21日～平成25年6月30日	
物理学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	(新規設置)
	<u>数理科学委員会数理科学分野の大型研究計画評価分科会</u>	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	(新規設置)
	<u>地球惑星科学委員会地球惑星科学分野の大型研究計画評価分科会</u>	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	
情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	(新規設置)
	<u>情報学委員会情報学分野の大型研究計画評価分科会</u>	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間: 平成25年3月22日～平成26年9月30日	

化学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	科学委員会化学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成25年3月22日～平成26年9月30日
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会総合工学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成25年3月22日～平成26年9月30日
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	機械工学委員会機械工学分野の参照基準検討分科会	機械工学分野における教育課程編成上の参考基準の検討	20名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成24年1月21日～平成25年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	機械工学委員会機械工学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成25年3月22日～平成26年9月30日
電気電子工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	電気電子工学委員会電気電子工学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成25年3月22日～平成26年9月30日
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	土木工学・建築学委員会土木工学・建築学分野の大型研究計画評価分科会	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に係る大型研究計画の課題の絞り込み、評価等	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成25年3月22日～平成26年9月30日

化学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	機械工学委員会機械工学分野の参考基準検討分科会	機械工学分野における教育課程編成上の参考基準の検討	20名以内の会員又は連携会員	設置期間:平成24年1月21日～平成25年3月31日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
電気電子工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			

材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	材料工学委員会材料工 学分野の大型研究計画 評価分科会	学術大型研究計画及び 重点大型研究計画の策 定に係る大型研究計画 の課題の絞り込み、評価 等	15名以内の 会員又は連 携会員	設置期間: 平成25年3 月22日～平 成26年9月 30日		(新規設置)			

附則

この決定は、決定の日から施行する。

基礎生物学委員会分科会の設置について

分科会等名：基礎生物学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	基礎生物学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「基礎生物学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成25年3月22日～平成26年9月30日 常設
6	備考	※新規設置

統合生物学委員会分科会の設置について

分科会等名：統合生物学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	統合生物学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「統合生物学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

農学委員会分科会の設置について

分科会等名：農学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	農学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「農学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

食料科学委員会分科会の設置について

分科会等名：食料科学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	食料科学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「食料科学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名：基礎医学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	基礎医学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「基礎医学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

臨床医学委員会分科会の設置について

分科会等名：臨床医学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	臨床医学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「臨床医学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

健康・生活科学委員会分科会の設置について

分科会等名：健康・生活科学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	健康・生活科学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「健康・生活科学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

歯学委員会分科会の設置について

分科会等名：歯学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	歯学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「歯学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

薬学委員会分科会の設置について

分科会等名：薬学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	薬学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「薬学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

環境学委員会分科会の設置について

分科会等名：環境学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	環境学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「環境学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名：数理科学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	数理科学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「数理科学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

物理学委員会分科会の設置について

分科会等名：物理学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	物理学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「物理学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

地球惑星科学委員会分科会の設置について

分科会等名：地球惑星科学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	地球惑星科学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術會議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「地球惑星科学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

情報学委員会分科会の設置について

分科会等名：情報学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	情報学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスター・プラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募してきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「情報学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募してきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

化学委員会分科会の設置について

分科会等名：化学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	化学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「化学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：総合工学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	総合工学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「総合工学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名：機械工学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	機械工学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「機械工学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

電気電子工学委員会分科会の設置について

分科会等名：電気電子工学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	電気電子工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「電気電子工学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成25年3月22日～平成26年9月30日 常設
6	備考	※新規設置

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：土木工学・建築学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「土木工学・建築学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成25年3月22日～平成26年9月30日 常設
6	備考	※新規設置

材料工学委員会分科会の設置について

分科会等名：材料工学分野の大型研究計画評価分科会

1	所属委員会名	材料工学委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、平成24年12月に報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、分野別委員会は同報告に基づき大型施設計画・大規模研究計画（以下、「大型研究計画」という。）に応募されてきた課題の評価、絞り込みを行うこととなっている。</p> <p>そこで、分野別委員会での絞り込み、評価を行うために「材料工学分野の大型研究計画評価分科会」を設置する。</p> <p>なお、分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。</p>				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、大型研究計画に応募されてきた課題の絞り込み、評価等を行う。				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成25年3月22日～平成26年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日	常設	
時限設置	平成25年3月22日～平成26年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名： 病原体研究に関するデュアルユース問題分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎医学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	デュアルユース問題は幅広い分野に内在する問題であるが、本分科会では国内外における病原体研究を中心とするバイオセキュリティーに関するデュアルユース問題を分析し、それに係る諸問題を検討する。また本課題の捉え方を討議し、分科会からの意志の表出の作成を目指す。
4	審議事項	病原体研究およびそのバイオセキュリティーに係るデュアルユース問題の審議であること
5	設置期間	平成24年6月1日～平成25年3月31日 <u>(上記期限を平成26年3月31日までに延長)</u>
6	備考	※設置期間の延長 本問題の議論を含めてゆく中で研究者自身及び大学以降の高等教育におけるデュアルユース性の認識ならびに各研究機関でのバイオセキュリティー管理の課題が整理された。これらの議論を踏まえて現在本分科会で「提言」を作成中であるため、少なくともあと一年間の延長を申請する次第である。

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名： 数理科学委員会数理科学分野の参考基準検討分科会

1	所属委員会名	数理科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会は、平成22年7月22日に取りまとめ、同年8月17日に文科省に手交した、「回答 大学教育の分野別質保証の在り方について」において、学士課程教育の分野別の質保証のために、各分野の教育課程編成上の参考基準を策定すべきことを述べた。</p> <p>このことを受けて、数理科学分野における教育課程編成上の参考基準を検討するため、本分科会を設置するものである。</p>
4	審議事項	数理科学分野における教育課程編成上の参考基準の検討
5	設置期間	平成24年12月21日～平成25年3月31日 (上記期限を平成25年6月30日までに延長)
6	備考	※ 設置期間延長 分科会における報告書の審議が続いており、完成には相当の時間を要すると思われるため。

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名： 機械工学分野の参考基準検討分科会

1	所属委員会名	機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会は、平成22年7月22日に取りまとめ、同年8月17日に文科省に手交した、「回答 大学教育の分野別質保証の在り方について」において、学士課程教育の分野別の質保証のために、各分野の教育課程編成上の参考基準を策定すべきことを述べた。</p> <p>このことを受けて、機械工学分野における教育課程編成上の参考基準を検討するため、本分科会を設置するものである。</p>
4	審議事項	機械工学分野における教育課程編成上の参考基準の検討
5	設置期間	平成24年12月21日～平成25年3月31日 (上記期限を平成25年9月30日までに延長)
6	備考	※ 設置期間延長

【委員会及び分科会】

○委員の決定（新規 20 件）

（基礎生物学委員会 基礎生物学分野の大型研究計画評価分科会）

氏名	所属・職名	備考
岡田 清孝	自然科学研究機構理事、基礎生物学研究所所長	第二部会員
岸本 健雄	東京工業大学大学院生命理工学研究科教授	第二部会員
小原 雄治	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構理事、国立遺伝学研究所所長	第二部会員
中野 明彦	東京大学大学院理学系研究科教授	第二部会員
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科教授	第二部会員
藤吉 好則	京都大学大学院理学研究科教授	第二部会員
室伏 きみ子	お茶の水女子大学理学部・大学院人間文化創成科学研究科教授	第二部会員
山本 正幸	公益財団法人かずさ DNA 研究所所長	第二部会員

（総合生物学委員会 総合生物学分野の大型研究計画評価分科会）

氏名	所属・職名	備考
松沢 哲郎	京都大学靈長類研究所教授	第一部会員
吉川 泰弘	千葉科学大学副学長、危機管理学部教授	第二部会員
北里 洋	独立行政法人海洋研究開発機構領域長	第三部会員
巖佐 庸	九州大学大学院理学研究院授	連携会員
加藤 真	京都大学大学院人間・環境学研究科教授	連携会員
久原 哲	九州大学農学研究院教授	連携会員
桑村 哲生	中京大学国際教養学部教授	連携会員
西田 治文	中央大学理工学部教授	連携会員
馬場 悠男	独立行政法人国立科学博物館名誉研究員	連携会員
渡辺 茂	慶應義塾大学文学部教授	連携会員

(農学委員会 農学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
上田 一郎	北海道大学理事・副学長	第二部会員
大政 謙次	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
川井 秀一	京都大学生存圏研究所教授	第二部会員
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
西澤 直子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授、石川県立大学生物資源工学研究所所長	第二部会員
矢澤 進	京都学園大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科農・森林環境デザイン研究室教授	第二部会員
内田 一徳	神戸大学農学部食料生産環境工学科教授	連携会員
奥野 員敏	筑波大学大学院生命環境科学研究科教授	連携会員
木村 真人	名古屋大学名誉教授	連携会員
武田 和義	岡山大学名誉教授	連携会員

(食料科学委員会 食料科学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
佐藤 英明	東北大学大学院農学研究科教授	第二部会員
野口 伸	北海道大学大学院農学研究院教授	第二部会員
吉川 泰弘	千葉科学大学副学長、危機管理学部教授	第二部会員
渡部 終五	北里大学海洋生命科学部教授、東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授	第二部会員
太田 明徳	東京大学名誉教授	連携会員
唐木 英明	倉敷芸術科学大学学長	連携会員
酒井 健夫	日本大学生物資源科学部教授	連携会員
清水 浩	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員
長澤 寛道	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

眞鍋 昇	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
------	--------------------	------

(基礎医学委員会 基礎医学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
清水 孝雄	東京大学大学院医学系研究科特任教授・東京大学理事（副学長）・国際医療研究センタープロジェクト長	第二部会員
須田 年生	慶應義塾大学医学部教授	第二部会員
田中 啓二	財団法人東京都医学総合研究所所長	第二部会員
宮下 保司	東京大学医学系研究科教授	第二部会員
内山 安男	順天堂大学大学院医学研究科教授	連携会員
門松 健治	名古屋大学大学院医学系研究科教授	連携会員

(臨床医学委員会 臨床医学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
春日 雅人	独立行政法人国立国際医療研究センター総長	第二部会員
白鳥 敬子	東京女子医科大学消化器内科学講座主任教授	第二部会員
戸山 芳昭	慶應義塾常任理事・慶應義塾大学医学部教授	第二部会員
中田 力	新潟大学脳研究所統合脳機能研究センターセンター長・教授	第二部会員
樋口 輝彦	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター理事長・総長	第二部会員
福井 次矢	聖路加国際病院院長	第二部会員
米倉 義晴	独立行政法人放射線医学総合研究所理事長	第二部会員
神庭 重信	九州大学大学院医学研究院精神病態医学教授	連携会員
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻教授	連携会員

堀田 知光	独立行政法人国立がん研究センター理事長	連携会員
-------	---------------------	------

(健康・生活科学委員会 健康・生活科学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
太田 喜久子	慶應義塾大学看護医療学部教授	第二部会員
小川 宣子	中部大学応用生物学部教授	第二部会員
田畠 泉	立命館大学スポーツ健康科学部長・教授	第二部会員
那須 民江	中部大学生命健康科学部客員教授・名古屋大学名誉教授	第二部会員
磯 博康	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学教授	連携会員
片田 範子	兵庫県立大学看護学部学部長・教授	連携会員
片山 倫子	東京家政大学名誉教授	連携会員
福永 哲夫	鹿屋体育大学学長	連携会員

(歯学委員会 歯学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
古谷野 潔	九州大学大学院歯学研究院教授	第二部会員
高戸 肇	東京大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
戸塚 靖則	東札幌病院口腔外科部長・北海道大学名誉教授	第二部会員
朝田 芳信	鶴見大学歯学部小児歯科学講座教授	連携会員
島内 英俊	東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野教授	連携会員
進藤 正信	北海道大学大学院歯学研究科教授	連携会員
田上 順次	東京医科歯科大学医歯学総合研究科教授・学部長	連携会員
丹沢 秀樹	千葉大学大学院医学研究科教授・副研究院長	連携会員
前田 健康	新潟大学大学院医歯学総合研究科長・歯学部長	連携会員

森山 啓司	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎頬面矯正学分野教授	連携会員
矢谷 博文	大阪大学大学院歯学研究科教授	連携会員

(薬学委員会 薬学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
清木 元治	東京大学医科学研究所教授	第二部会員
長野 哲雄	東京大学大学院薬学系研究科教授	第二部会員
橋田 充	京都大学大学院薬学研究科教授	第二部会員
赤池 昭紀	名古屋大学大学院創薬科学研究科教授	連携会員
入村 達郎	東京大学大学院薬学系研究科教授	連携会員
柴崎 正勝	財団法人微生物化学研究会微生物化学研究所長	連携会員
杉山 雄一	独立行政法人理化学研究所特別招聘研究員	連携会員
平井 みどり	神戸大学医学部附属病院薬剤部薬剤部長・教授	連携会員
藤井 信孝	京都大学大学院薬学研究科特別教授	連携会員
眞弓 忠範	大阪大学名誉教授	連携会員

(環境学委員会 環境学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
碓井 照子	奈良大学文学部地理学科教授	第一部会員
大政 謙次	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
那須 民江	中部大学生命健康科学部客員教授、名古屋大学名誉教授	第二部会員
西澤 直子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授、石川県立大学生物資源工学研究所所長	第二部会員
鷺谷 いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
石川 幹子	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員

栗原 和枝	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授（多元物質科学研究所兼務）	第三部会員
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
氷見山 幸夫	北海道教育大学教育学部教授	第三部会員
安成 哲三	名古屋大学地球水循環研究センター教授	第三部会員
淡路 剛久	早稲田大学法務教育センター招聘研究員	連携会員
鬼頭 秀一	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	連携会員
進士 五十八	東京農業大学名誉教授	連携会員
安岡 善文	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構監事	連携会員

(数理科学委員会 数理科学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
石井 志保子	東京大学大学院数理科学研究科教授	第三部会員
楠岡 成雄	東京大学大学院数理科学研究科教授	第三部会員
森田 康夫	東北大学教養教育院総長特命教授	第三部会員
小澤 徹	早稲田大学理工学術院先進理工学部応用物理学 科教授	連携会員
栗木 哲	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統 計数理研究所教授	連携会員
小谷 元子	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員
杉原 正顯	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	連携会員
竹村 彰通	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	連携会員
中尾 充宏	佐世保工業高等専門学校校長	連携会員
室田 一雄	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	連携会員

(物理学委員会 物理学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考

相原 博昭	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
伊藤 早苗	九州大学副学長、応用力学研究所教授	第三部会員
岡 眞	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
田島 節子	大阪大学大学院理学研究科教授	第三部会員
觀山 正見	広島大学学長室特任教授	第三部会員
伊藤 公孝	大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合 科学研究所教授	連携会員
岡村 定矩	法政大学理工学部創生科学科教授	連携会員
河野 公俊	独立行政法人理化学研究所主任研究員	連携会員
五神 真	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
田村 裕和	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員

(地球惑星科学委員会 地球惑星科学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
碓井 照子	奈良大学文学部地理学科教授	第一部会員
大久保 修平	東京大学地震研究所教授・高エネルギー素粒子地 球物理学研究センター長	第三部会員
川口 淳一郎	独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究 所宇宙飛翔工学研究系教授・シニアフェロー	第三部会員
北里 洋	独立行政法人海洋研究開発機構海洋・極限環境生 物圏領域長	第三部会員
中島 映至	東京大学大気海洋研究所地球表層圏変動研究セン ター長	第三部会員
永原 裕子	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
奥村 晃史	広島大学大学院文学研究科教授	連携会員
木村 学	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
熊木 洋太	専修大学文学部教授	連携会員

佐々木 晶	大学共同利用機関法人自然科学研究機構構国立天文台水沢観測所教授	連携会員
高橋 栄一	東京工業大学大学院理工学研究科教授	連携会員
花輪 公雄	東北大学理事	連携会員
春山 成子	三重大学大学院生物資源学研究科教授	連携会員

(情報学委員会 情報学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
石田 亨	京都大学大学院情報学研究科教授	第三部会員
尾家 祐二	九州工業大学理事・副学長	第三部会員
北川 源四郎	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構機構長	第三部会員
喜連川 優	東京大学生産技術研究所教授	第三部会員
坂村 健	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授	第三部会員
西尾 章治郎	大阪大学大学院情報科学研究科教授	第三部会員
萩谷 昌己	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	第三部会員
安浦 寛人	九州大学理事・副学長	第三部会員
米澤 明憲	独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構副機構長	第三部会員

(化学委員会 化学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
川合 真紀	独立行政法人理化学研究所理事、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	第三部会員
北川 進	京都大学物質-細胞統合システム拠点福岡拠点長・教授	第三部会員
栗原 和枝	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授、同多元物質科学研究所兼務	第三部会員
黒田 玲子	東京理科大学総合研究機構教授	第三部会員
澤本 光男	京都大学大学院工学研究科教授	第三部会員

高原 淳	九州大学先導物質化学研究所教授	第三部会員
翼 和行	名古屋大学物質科学国際研究センター長・教授	第三部会員
藤田 照典	三井化学シンガポールR&Dセンター株式会社社長	第三部会員
中村 栄一	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員

(総合工学委員会 総合工学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
伊藤 早苗	九州大学副学長、応用力学研究所教授	第三部会員
川口 淳一郎	独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授・シニアフェロー	第三部会員
小長井 誠	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員
萩原 一郎	明治大学先端数理科学インスティテュート(MIMS) 副所長、研究知財戦略機構・特任教授	第三部会員
前田 正史	東京大学理事・副学長、生産技術研究所教授	第三部会員
松岡 猛	宇都宮大学大学院工学研究科客員教授	第三部会員
山地 憲治	公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)理事・所長	第三部会員
渡辺 美代子	株式会社東芝経営変革統括責任者	第三部会員
館 曜	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授	連携会員
柴田 徳思	株式会社千代田テクノル大洗研究所研究主幹	連携会員

(機械工学委員会 機械工学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
新井 民夫	芝浦工業大学工学部機械学群機械工学科教授	第三部会員
有信 瞳弘	東京大学監事	第三部会員
岡崎 健	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員

北村 隆行	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻教授	第三部会員
岸本 喜久雄	東京工業大学大学院理工学研究科工学系長・工学部長、教授	第三部会員
木村 文彦	法政大学理工学部機械工学科教授	第三部会員
庄子 哲雄	東北大学大学院工学研究科附属エネルギー安全科学国際研究センター教授	第三部会員
萩原 一郎	明治大学先端数理科学インスティテュート(MIMS)副所長、研究知財戦略機構・特任教授	第三部会員
福田 敏男	名古屋大学大学院工学研究科教授	第三部会員
松本 洋一郎	東京大学理事(副学長)・大学院工学系研究科教授	第三部会員

(電気電子工学委員会 電気電子工学分野の大型研究計画評価分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
石原 宏	東京工業大学名誉教授	第三部会員
福田 敏男	名古屋大学大学院工学研究科教授	第三部会員
保立 和夫	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授	第三部会員
吉田 進	京都大学大学院情報学研究科教授	第三部会員
井筒 雅之	東京工業大学大学院総合理工学研究科特任教授	連携会員
大西 公平	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
大橋 弘美	株式会社 NTT フォトニクス研究所部長	連携会員
河野 隆二	横浜国立大学大学院工学研究院教授	連携会員
小林 一哉	中央大学理工学部教授	連携会員
福井 孝志	北海道大学情報科学研究科教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会 土木工学・建築学分野の大型研究計画評価分科会)

氏名	所属・職名	備考
石川 幹子	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
嘉門 雅史	香川高等専門学校校長	第三部会員
小松 利光	九州大学大学院工学研究院教授	第三部会員
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
吉野 博	東北大学大学院工学研究科名誉教授	第三部会員
依田 照彦	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員
和田 章	東京工業大学名誉教授	第三部会員
天野 玲子	鹿島建設株式会社知的財産部長	連携会員
池田 駿介	株式会社建設技術研究所池田研究室長	連携会員
小池 俊雄	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
仙田 満	放送大学教授	連携会員
中井 檜裕	東京工業大学大学院社会理工学研究科 社会工学専攻教授	連携会員
中島 正愛	京都大学防災研究所所長	連携会員

(材料工学委員会 材料工学分野の大型研究計画評価分科会)

氏名	所属・職名	備考
岡田 益男	独立行政法人国立高等専門学校機構八戸工業高等学校校長	第三部会員
岡野 光夫	東京女子医科大学先端生命医科学研究所所長・教授	第三部会員
中嶋 英雄	財団法人若狭湾エネルギー研究センター所長、大阪大学名誉教授	第三部会員
細野 秀雄	東京工業大学フロンティア研究機構教授	第三部会員
前田 正史	東京大学副学長・理事、同生産技術研究所教授	第三部会員
吉田 豊信	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
片岡 一則	東京大学工学系研究科マテリアル工学専攻教授、同	連携会員

	大学医学系研究科附属疾患生命工学センター教授	
小関 敏彦	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
長井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構環境・エネルギー材料領域コーディネータ	連携会員
山口 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員

○委員の決定（追加 2 件）

(経営学委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
奥林 康司	大阪国際大学学長補佐（学事担当）、ビジネス学部教授	連携会員

(臨床医学委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
春日 雅人	独立行政法人国立国際医療研究センター 総長	第二部会員

(提案 4)

部が直接統括する分野別委員会合同分科会について（※取下げ）

分科会名：人文・社会科学分野の大型研究計画評価分科会

1	担当部及び関係委員会名	第一部
2	委員の構成	20名以内の会員、連携会員
3	設置目的	科学者委員会学術の大型研究計画分科会によるマスタープランの作成・改訂に関して、人文・社会科学分野における大型計画、とくに大規模研究計画の積極的推進のために、各分野別委員会のマスタープランの作成、分野横断的な融合的研究計画の作成などを促進し、この事業を効果的に遂行するための審議を行うことを目的とする。本分科会は、学術の大型研究計画分科会と協力しつつ、人文・社会科学分野の議論を推進し、各分野の計画の準備と複数の分野が連合した融合的計画の作成を促進し、その評価ための基準づくりなどの基礎的準備作業を行うこととする。
4	審議事項	① 分野別のマスタープラン作成の推進 ② 分野別の計画の調整・連携・協同化 ③ 人文・社会科学の複数分野にまたがる広い領域を包括する融合的な研究計画の作成 ④ 分野別の大型研究計画、融合型の大型研究計画の評価基準づくりの準備作業 ⑤ その他関連する事項
5	設置期間	常設
6	備考	第一部大型研究計画推進分科会について、各部の大型研究計画関連委員会と委員会名の統一を図るため、「 <u>人文・社会科学分野の大型研究計画評価分科会</u> 」に名称の変更を行う。

提案 5 は提言関係のため別添 2 を御覧ください。

平成27年度共同主催国際会議候補

(提案6)

会議名		開催予定情報			
1 第12回アジア栄養学会議 12th Asian Congress of Nutrition(ACN2015)	■母体団体:アジア栄養学会連合 (FANS: Federation of Asian Nutrition Societies)	会議内容	参加人数	国外	1,000 同伴者 0
	■主催学会:公益社団法人日本栄養・食糧学会		参加人数	国内	3,000 同伴者 0
	期間 平成27年5月14日(木)~18日(月)[5日間]		合計	4,000	合計 0
	場所 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)		国数	[40カ国・地域]	
間隔 4年ごと [日本開催:28年振り2回目]	会議テーマ:「みんなの健康長寿のための栄養と食糧」				主要題目:栄養生化学、栄養生理学、臨床栄養学における非感染性疾患(肥満・糖尿病・循環器病・がん・低栄養等)、健康格差と栄養、災害と栄養など
2 第7回国際新興・再興豚病学会 The 7th International Symposium on Emerging and Re-emerging Pig Diseases (ISERPD in Kyoto)	■母体団体:国際新興・再興豚病学会 (ISERPD: International Society of Emerging and Re-emerging Pig Diseases)	会議内容	参加人数	国外	500 同伴者 0
	■主催学会:第7回国際新興・再興豚病学会組織委員会		参加人数	国内	300 同伴者 0
	期間 平成27年6月21日(日)~24日(水)[4日間]		合計	800	合計 0
	場所 国立京都国際会館(京都府京都市)		国数	[50カ国・地域]	
間隔 4年ごと [日本開催:初]	会議テーマ:「世界の新興・再興豚病の制御に向けて:アジアからの発信」				主要題目:
3 国際第四紀学連合第19回大会 International Union for Quaternary Research, XIX Congress	■母体団体:国際第四紀学連合 (INQUA: International Union for Quaternary Research)	会議内容	参加人数	国外	750 同伴者 0
	■主催学会:日本第四紀学会		参加人数	国内	350 同伴者 0
	期間 平成27年7月27日(月)~8月2日(日)[7日間]		合計	1,100	合計 0
	場所 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)		国数	[45カ国・地域]	
間隔 4年ごと [日本開催:初]	会議テーマ:「第四紀学からみた気候変動・自然災害・文明」				主要題目:自然災害対策、気候・海洋・環境変動の予測と対応、人間と環境の動的関係、第四紀年代層序学の技術革新など
4 第17回世界経済史会議 The 17th World Economic History Congress(WEHC2015)	■母体団体:国際経済史協会 (IEHA: International Economic History Association)	会議内容	参加人数	国外	800 同伴者 0
	■主催学会:WEHC2015国内組織委員会		参加人数	国内	300 同伴者 0
	期間 平成27年8月3日(月)~7日(金)[5日間]		合計	1,100	合計 0
	場所 国立京都国際会館(京都府京都市)		国数	[51カ国・地域]	
間隔 3年ごと [日本開催:初]	会議テーマ:「経済発展の多様性」				主要題目:国・地域間の比較だけでなく、国・地域内での民族、性別、年齢等の多様性など
5 クオークマター2015: 第25回相対論的原子核衝突国際会議 Quark Matter 2015: The 25th International Conference on Ultra-relativistic Nucleus-Nucleus Collisions(QM2015)	■母体団体:クオークマター国際諮問委員会 (Quark Matter International advisory Committee)	会議内容	参加人数	国外	200 同伴者 0
	■主催学会:一般社団法人 日本物理学会		参加人数	国内	500 同伴者 0
	期間 平成27年9月27日(日)~10月3日(土)[7日間]		合計	700	合計 0
	場所 神戸ファッショントマート(兵庫県神戸市)		国数	[30カ国・地域]	
間隔 2年ごと [日本開催:18年振り2回目]	会議テーマ:「極限物質の構造」				主要題目:クオーク・グルーオン・プラズマの微視的性質とその強結合性の解明など
6 世界工学会議(第5回) World Engineering Conference and Convention(WECC2015)	■母体団体:世界工学団体連盟 (WFEO: World Federation of Engineering Organizations)	会議内容	参加人数	国外	500 同伴者 0
	■主催学会:公益社団法人日本工学会		参加人数	国内	1,500 同伴者 0
	期間 平成27年11月30日(月)~12月2日(水)[3日間]		合計	2,000	合計 0
	場所 国立京都国際会館(京都府京都市)		国数	[80カ国・地域]	
間隔 4年ごと [日本開催:初]	会議テーマ:「Engineering: Innovation and Society」				主要題目:

平成27年度共同主催国際会議保留会議

会議名		開催予定情報				
保	北極科学サミット週間2015 Arctic Science Summit Week 2015(ASSW2015) <p>■母体団体:国際北極科学委員会 (IASC:International Arctic Science Committee)</p> <p>■主催学会:北極環境研究コンソーシアム</p>	参加人数	国外 国内 合計	200 400 600	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年4月中[10日間程度]	国数	[15カ国・地域]			
	場所 未定	会議内容	会議テーマ: 主要題目:			
	間隔 毎年 [日本開催:初]					
保	第22回国際社会科学団体連盟(IFSSO)総会及び国際会議 22nd IFSSO General Assembly and International Conference <p>■母体団体:国際社会科学団体連盟 (IFSSO:International Federation of Social Science Organizations)</p> <p>■主催学会:IFSSO東京会議組織委員会</p>	参加人数	国外 国内 合計	60 100 160	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年5月9日(土)~10日(日)[2日間]	国数	[30カ国・地域]			
	場所 成城大学3号館会議室(東京都世田谷区)	会議内容	会議テーマ:「グローバリゼーション」 主要題目:			
	間隔 2年ごと [日本開催:26年振り2回目]					
保	防災・減災に関する世界科学会議 International Study Conference on Disaster Risk Reduction <p>■母体団体:災害リスク統合研究科学委員会 (Integrated Research on Disaster Risk (IRDR) Scientific Committee)</p> <p>■主催学会:災害リスク統合研究科学委員会</p>	参加人数	国外 国内 合計	100 100 200	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年5月~7月[3日間程度]	国数	[20カ国・地域]			
	場所 日本学術会議講堂(東京都港区)	会議内容	会議テーマ:「災害リスクの軽減から持続可能な開発をドライブする新たな科学技術の構築へ向けて」 主要題目:			
	間隔 初 [日本開催:初]					
保	第9回中欧・東欧研究国際協議会世界大会 9th World Congress, International Council for Central and East European Studies(ICCEES) <p>■母体団体:中欧・東欧研究国際協議会 (ICCEES: International Council for Central and East European Studies)</p> <p>■主催学会:日本ロシア・東欧研究連絡協議会</p>	参加人数	国外 国内 合計	1,400 600 2,000	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年8月3日(月)~8日(土)[6日間]	国数	[60カ国・地域]			
	場所 幕張メッセ、神田外語大学(千葉県千葉市)	会議内容	会議テーマ: 主要題目:			
	間隔 5年ごと [日本開催:初]					
保	第24回 国際冷凍会議 The 24th International Congress of Refrigeration(ICR 2015) <p>■母体団体:国際冷凍学会 (IIR: International Institute of Refrigeration)</p> <p>■主催学会:公益社団法人日本冷凍空調学会</p>	参加人数	国外 国内 合計	500 500 1,000	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年8月16日(日)~22日(土)[7日間]	国数	[52カ国・地域]			
	場所 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)	会議内容	会議テーマ: 主要題目:極低温、熱力学、生物・食品、食品の貯蔵と輸送、空調・ヒートポンプなど			
	間隔 4年ごと [日本開催:初]					
保	第44回国際実験血液学会 44th Annual Scientific Meeting of International Society of Experimental Hematology (ISEH 2015) <p>■母体団体:国際実験血液学会 (ISEH:International Society of Experimental Hematology)</p> <p>■主催学会:国際実験血液学会2015日本運営委員会</p>	参加人数	国外 国内 合計	250 250 500	同伴者 同伴者 合計	0 0 0
	期間 平成27年9月17日(木)~20日(日)[4日間]	国数	[40カ国・地域]			
	場所 国立京都国際会館(京都府京都市)	会議内容	会議テーマ: 主要題目:幹細胞の自己複製と維持、幹細胞の発生・分化機構、幹細胞の微少環境、幹細胞のDNA損傷と修復			
	間隔 毎年 [日本開催:14年振り3回目]					

(参考)

「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」(抄)

(共同主催の審議)

- 第33条 会長は、前条第1項の申請書を受理したときは、共同主催の候補の選定のため、国際委員会に審議させるものとする。
- 2 国際委員会は、同委員会に置かれる国際会議主催等に関する分科会（以下「主催等検討分科会」という。）において、前項の審議を行わせるものとする。
- 3 主催等検討分科会は、前項の審議を行うため、各部に当該会議の共同主催の適否等について意見を聞くことができる。
- 4 主催等検討分科会における審議は、会議を開催する前々年度の2月末までに終えなければならない。

但し、複数回に分けて結論を出すこともできる。

(共同主催の決定)

- 第34条 会長は、前条の審議結果に基づき、幹事会の議決を経て共同主催の候補を決定する。
- 2 共同主催の候補となった国際会議は、閣議口頭了解を得ることとする。
- 3 会長は、前項の口頭了解をもって共同主催を決定し、その旨を申請者に通知するものとする。

※保留会議について

今回保留とした6件については、開催前々年度の2月末までに諸条件が整えば、本幹事会の承認を経た上で、今回の候補会議に加えて、平成27年度共同主催国際会議候補に追加する予定。

※件数について

直近6年間（平成21～26年度）は、各年7件の会議を共同主催の候補としている。

※開催に要する経費（日本学術会議が負担する額）

平成24年度（予算額）	42,968（千円）
平成25年度（予算案額）	40,753（千円）

※日本学術会議が負担する範囲

以下の基準に基づき、主催学術研究団体と日本学術会議双方で協議の上、決定するものとする。

(共同主催国際会議経費分担基準)

	日本学術会議	国内学術研究団体
会場 借料	国際会議開催会場における 学術的プログラム使用分を対象 〔原則として、控室、準備時間、事務 室等に使用される部屋の借料及び 付帯設備使用料を除く〕	日本学術会議が負担する以外の 全ての国際会議開催会場使用分
招へい 外国人 滞在費	国際会議に出席する母体国際学術団 体役員、特別講演者等の国外参加者の 滞在費（日本学術会議が定める人数で 規程により算定した額）を対象	日本学術会議が負担する以外の 全ての経費

(提案7)

様式第6(第18条関係)

(1)平成25年度代表派遣実施計画

<第1区分>

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	第20回アジア社会科学研究協議会連盟(AASSREC)総会・大会	2013/4/4 ~ 2013/4/6	セブ (フィリピン)	3(注1)
2	第21回国際社会科学団体連盟(IFSSO)会議及び総会	2013/4/9 ~ 2013/4/10	イスタンブル (トルコ)	2
3	第24回国際科学史技術史医学史会議 (国際科学史・科学基礎論連合(IUHPS)/DHST総会)	2013/7/22 ~ 2013/7/28	マンチェスター (イギリス)	2
4	第47回国際純正・応用化学連合(IUPAC)総会/第44回IUPAC会議	2013/8/8 ~ 2013/8/16	イスタンブル (トルコ)	2
5	第26回国際地図学会議 (国際地図学協会(ICA)総会)	2013/8/25 ~ 2013/8/30	ドレスデン (ドイツ)	2
6	世界工学団体連盟(WFEO)総会および災害リスクマネジメント委員会	2013/9/9 ~ 2013/9/15	シンガポール (シンガポール)	2
7	第20回国際栄養学会議 (国際栄養学連合(IUNS)総会)	2013/9/15 ~ 2013/9/20	グラナダ (スペイン)	1

(注1)うち1名の会期中の滞在費及びフライト代は主催者負担

14

<第2区分>

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	国際北極科学委員会(IASC)理事会・北極科学サミット ウィーク	2013/4/13 ~ 2013/4/19	クラコウ (ポーランド)	1
2	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)理事会	2013/5/5 ~ 2013/5/5	ベルン (スイス)	1
3	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)次期プログラム検討会議	2013/5/6 ~ 2013/5/8	ベルン (スイス)	1
4	第13回インターナショナルアカデミー・カウンシル(IAC)理事会	2013/6/24 ~ 2013/6/26	アムステルダム (オランダ)	2
5	太平洋学術協会(PSA)評議会・執行理事会及び太平洋学術中間会議	2013/7/8 ~ 2013/7/12	スバ フィジー	1
6	国際自動制御連盟(IFAC)理事会及び関連役員会	2013/7/16 ~ 2013/7/19	チューリッヒ (スイス)	1
7	国際結晶学連合(IUCr)運営委員会	2013/8/25 ~ 2013/8/29	コベントリー・チェスター (イギリス)	1
8	国際農業工学会(CIGR)2013年度執行役員会等、第5回「農業工学のトレンド」国際会議	2013/9/3 ~ 2013/9/6	プラハ (チェコ)	1
9	IAP執行委員会	2013/10/31 ~ 2013/11/1	キャンベラ (オーストラリア)	2
10	第26回国際科学会議(ICSU)科学計画評価委員会	2013/9/26 ~ 2013/9/27	パリ (フランス)	1
11	2013年度海洋研究科学委員会(SCOR)執行理事会	2013/11/25 ~ 2013/11/28	未定 (ニュージランド)	1
12	第67回地質科学連合(IUGS)理事会	2014/2/20 ~ 2014/2/22	北京 中国	1
13	IAP執行委員会	2014年3月予定	未定 (未定)	2
14	第14回インターナショナルアカデミー・カウンシル(IAC)理事会	2014年3月予定	未定 (未定)	2
15	宇宙空間研究員会(COSPAR)第81回理事会・第9回科学諮問会議プログラム委員会	2014/3/24 ~ 2014/3/27	パリ (フランス)	1
16	宇宙空間研究員会(COSPAR)2014科学総会プログラム委員会	2014/3/24 ~ 2014/3/26	パリ (フランス)	1
17	第27回国際科学会議(ICSU)科学計画評価委員会	2014/3/26 ~ 2014/3/27	パリ (フランス)	1

21

〈第3区分〉

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	グローバルヤングアカデミー総会及び若手専門家ワークショップ	2013/5/13 ~ 2013/5/18	(ハレ・ハノーファー ドイツ)	2
2	国際土壤科学連合(IUSS)世界土壤炭素会議	2013/6/3 ~ 2013/6/6	(マディソン アメリカ)	1
3	第1回国際層序学会議 (国際地質科学連合(IUSS)国際層序学委員会の会議)	2013/7/1 ~ 2013/7/7	(リスボン ポルトガル)	1
4	国際地震学・地球内部物理学協会総会 (国際測地学及び地球物理学連合(IUGG)関連会議)	2013/7/22 ~ 2013/7/26	(エーテボリ スウェーデン)	1
5	哲学系諸学会国際連合(FISP)運営委員会及び第23回世界哲学会議	2013/8/4 ~ 2013/8/10	(アテネ ギリシャ)	1
6	第17回国際人類民族科学連合(IUAES)世界大会	2013/8/5 ~ 2013/8/10	(マンチェスター イギリス)	1
7	第8回国際地形学(IAG)会議	2013/8/27 ~ 2013/8/31	(パリ フランス)	1
8	国際宗教学宗教史学会(IAHR)理事会	2013/9/3 ~ 2013/9/6	(リバプール イギリス)	1
9	第6回IAP若手科学者会議2013	2013/9/11 ~ 2013/9/13	(大連 中国)	2
10	2013年第三世界科学アカデミー(TWAS)第24回総会	2013/9/30 ~ 2013/10/4	(アルゼンチン ブエノスアイレス)	1
11	世界社会科学フォーラム2013 (国際社会科学評議会(ISSC)総会)	2013/10/13 ~ 2013/10/15	(モントリオール カナダ)	1
				13

〈特別派遣〉

番号	会議名	会期	開催地	派遣人員
1	第42回地質科学国際研究計画(IGCP)本部総会	2014/2/17 ~ 2014/2/18	(パリ フランス)	1
				1

(2) 代表派遣 : 平成25年4 - 6月期の会議派遣候補者

別 紙

番号	国際会議等	会 期		派遣候補者 (職名)	備考
		計	開催地及び用務地		
1	第20回アジア社会科学研究協議会連盟(AASSREC)総会・大会	4月4日 ～ 4月6日	3 日	セブ フィリピン	第一部国際協力分科会 第1区分
				セブ フィリピン	
2	第20回アジア社会科学研究協議会連盟(AASSREC)総会・大会	4月4日 ～ 4月6日	3 日	セブ フィリピン	第一部国際協力分科会 第1区分
				杉原 薫 第一部会員 東京大学大学院経済学研究科教授	
3	第20回アジア社会科学研究協議会連盟(AASSREC)総会・大会	4月4日 ～ 4月6日	3 日	セブ フィリピン	第一部国際協力分科会 第1区分
				中野 聰 連携会員 一橋大学大学院社会学研究科教授	
4	第21回国際社会科学団体連盟(IFSSO)会議及び総会	4月9日 ～ 4月10日	2 日	イスタンブール トルコ	第一部国際協力分科会 第1区分
				西原 和久 特任連携会員 成城大学社会イノベーション学部教授	
5	第21回国際社会科学団体連盟(IFSSO)会議及び総会	4月9日 ～ 4月10日	2 日	イスタンブール トルコ	第一部国際協力分科会 第1区分
				小松 照幸 連携会員 名古屋学院大学経済学部准教授	
6	国際北極科学委員会(IASC)理事会・北極科学サミットワーキング	4月13日 ～ 4月19日	7 日	クラコウ ポーランド	IASC分科会 第2区分
				大畠 哲夫 特任連携会員 海洋研究開発機構プログラムディレクター	
7	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)理事会	5月5日 ～ 5月5日	1 日	ベルン スイス	SCOSTEP分科会 第2区分
				中村 卓司 特任連携会員 国立極地研究所教授	
8	太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP)次期プログラム検討会議	5月6日 ～ 5月8日	3 日	ベルン スイス	SCOSTEP分科会 第2区分
				荻野 瀧樹 特任連携会員 名古屋大学太陽地球環境研究所教授	
9	グローバルヤングアカデミー総会及び若手専門家ワークショップ	5月13日 ～ 5月18日	6 日	ハレ・ハノーファー ドイツ	若手アカデミー委員会 第3区分
				駒井 章治 特任連携会員 奈良先端科学技術大学院大学准教授	
10	グローバルヤングアカデミー総会	5月15日 ～ 5月18日	4 日	ハレ ドイツ	若手アカデミー委員会 第3区分
				中村 征樹 特任連携会員 大阪大学准教授	

番号	国際会議等	会期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
		計				
11	国際土壤科学連合(IUSS)世界土壤炭素会議	6月3日 ～ 6月6日	4日	マディソン	波多野 隆介 特任連携会員 北海道大学大学院農学研究院教授	IUSS分科会 第3区分
				アメリカ		
12	第13回インターラカデミーカウンシル(IAC)理事会	6月24日 ～ 6月26日	3日	アムステルダム	大西 隆 第三部会員 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授	国際委員会Gサイエンス及びICSU等分科会 第2区分
				オランダ		
13	第13回インターラカデミーカウンシル(IAC)理事会	6月24日 ～ 6月26日	3日	アムステルダム	春日 文子 第二部会員 国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長	国際委員会Gサイエンス及びICSU等分科会 第2区分
				オランダ		

(提案8)

○第13回アジア学術会議（13th Science Council of Asia Conference）への会員等の派遣及び外国人の招聘について

日本学術会議派遣者

氏名	派遣目的
大西 隆 会長	アジア学術会議加盟国代表理事として理事会に参加
春日 文子 副会長	オブザーバーとして参加
白田 佳子 第1部会員	アジア学術会議事務局長として運営に携わるため

外国アカデミー関係者（加盟予定国代表）

氏名	職名（国名）
（人選中）	Institute do Petroleo e Geologia(I.P.G-I.P.) (東ティモール)
（人選中）	Myanmar Academy of Arts and Science (ミャンマー)
Thein Oo Po Saw	President Myanmar Academy of Technology (ミャンマー)
Somphone Phanousith	Permanent Secretary of National Science Council (ラオス)
Chao-Han Liu	Chair of Sustainability Center: Academia Sinica (台湾)

上記、招へい者は予定であり今後変更があり得る。

提案9～11は別添なし

(提案 12)

公開シンポジウム「IFAC BioRobotics Conference」の開催について

1. 主 催：日本学術会議農学委員会C I G R 分科会、総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 I F A C 分科会

2. 共 催：日本生物環境工学会、計測自動制御学会

3. 日 時：平成 25 年 3 月 27 日（水）9：00 – 18：00

4. 場 所： ホテルアゴーラリージェンシー堺

5. 分科会の開催：なし

6. 開催趣旨：

BioRobotics Conference は IFAC Technical Committee(TC) 8.01 Control in Agriculture が主催し、今回で 5 回目を迎える実績のある Conference である。これまでの開催地は Gandia, Spain (1997), Sakai, Japan (2000), Sapporo, Japan (2006), Champaign, Illinois, USA (2009) であり、日本が主導的な役割をしている。本 Conference は食料生産における自動化・ロボット化に加えて、日本が世界のトップレベルにある植物工場についても対象とし、これらの領域の最先端技術に関する研究成果や最新動向、将来展望についての講演や討論を行う。Plenary Speech 3 件（ベルギー、アメリカ、中国）、Guest Speech 6 件（オランダ、ベルギー、アメリカ 2 件、台湾、韓国）に加え、一般講演 74 件が欧米やアジアなど世界各国から参加する研究者によって行われる。

7. 次 第：

開会挨拶

村瀬治比古*（日本学術会議連携会員、大阪府立大学大学院工学研究科教授）

野口 伸*（日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院農学研究院教授）

10:00

「精密農業とロボット技術」

ジョス・デバエルデマーカー（カソリックルーベン大学教授）

10:30

「温室作物の栄養要件を上回る過剰施肥について」

ロイヤル・ハイズ（ミシガン州立大学名誉教授）

11:00

「中国における農業機械化の展開」

リ・シュジュン（中国農業機械化学院教授）

【ゲストスピーチ】

13:00

「温室における最適環境制御」

ゲリット・フォンストラーテン（ワーゲニンゲン大学教授）

【一般セッション】

13:30

「保存果物と野菜のためのゼロエネルギー冷温チャンバの内部温度を最小限に抑えるための灌水制御の最適化」

森本哲夫教授（愛媛大学農学部教授）他、学生1名

13:50

「インテリジェント温室におけるトマトの花器高さ調整のためのDIF効果の分析」

森本哲夫教授（愛媛大学農学部教授）他、学生1名

14:10

「低温処理がホウレンソウの高機能化に与える影響」

清水 浩*（日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授）他、学生1名

14:30

「MATLAB、Simulinkを使用した温室内部システムを蒸発散量のモデリング」

森本哲夫教授（愛媛大学農学部教授）他、学生1名

15:20

「温室内の熱浮力によるCO₂分布」

ヒョンテ・キム（慶尚大学教授）他、学生1名

15:40

「イチゴの安定生産に向けた地域環境制御へのアプローチ」

北野雅治（日本学術会議連携会員、九州大学大学院農学研究院教授）他、学生1名

16:00

「インテリジェント温室でトマトの収量予測モデルに基づく意思決定支援アプリケーションの開発」

森本哲夫教授（愛媛大学農学部教授）他、学生1名

16:20

「監視所の香りによる植物診断：トマト植物のラセッタダニ被害の検出」

高山弘太郎（日本学術会議特任連携会員、愛媛大学農学部講師）

16:40

「レタス葉面積によるCO₂消費量の推定値」

ヒョンテ・キム（慶尚大学教授）他、学生1名

17:00

「水耕栽培植物工場における植物廃棄物の活用」

片山 直美（名古屋女子大学家政学部准教授）

8. 関係部の承認の有無：第二部承認、第三部承認

(*印の講演者等は、本分科会委員)

(提案 13)

公開シンポジウム「大学院教育から考える高度実践看護師教育のあり方意見交換会」の開催について

1. 主 催：日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会

2. 共 催：日本看護系学会協議会

3. 日 時：平成 25 年 3 月 30 日（土）11 時 00 分～12 時 30 分

4. 場 所：新大阪丸ビル別館 5－2 号室

5. 分科会の開催：なし

6. 開催趣旨：

看護学教育の高度化は急速に進み、裁量権を拡大してその専門性を発展させる時代が来ています。安心安全の医療を国民に提供するために、裁量権の拡大によりスキルミックスをすすめ、医療の質向上を推進できる人材育成を保証するカリキュラムや資格認証制度について十分な討議が必要です。将来を見据えた意見交換会を行いたいと思います。

7. 次 第：

11:00 ご挨拶・趣旨説明

太田 喜久子*（日本学術会議会員、慶應義塾大学看護医療学部教授）

11:10 話題提供と意見交換

① 我が国における APN を目指した教育実践実例

野川道子（北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科科長）

塚本容子（北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科教授）

②APN 大学院教育での病態、薬理、フィジカルアセスメント科目の導入における課題

井上智子*（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授）

③APN 大学院教育におけるコアと実践を保証する教育とは

クローズ幸子（亀田保健医療大学教授）

④がん看護学領域の高度実践を保証する大学院教育とは

内布敦子*（日本学術会議連携会員、兵庫県立大学看護学部教授）

12:00 総合討論

12:30 閉会 野嶋 佐由美*（日本学術会議連携会員、高知県立大学看護学部学部長）

8. 関係部の承認の有無：第二部承認

(*印の講演者等は、本分科会委員)

(提案 14)

市民公開講座「加齢による耳と目の病気と最新治療」の開催について

1. 主 催：日本学術会議臨床医学委員会感覚器分科会
2. 後 援：一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会、公益財団法人日本眼科学会
3. 日 時：平成 25 年 5 月 18 日（土） 15：00～17：00
4. 場 所：ロイトン札幌 1 階「キャッスル」
〒060-0001 北海道札幌市中央区北 1 条西 11 丁目
5. 分科会の開催：開催なし
6. 開催趣旨：

人間が外部から得る情報のほとんどは耳と目を介してであることからも、これら感覚器は人体の非常に重要な器官といえる。しかしながら、一般にその重要性が十分に認識されているとはいがたい。我が国は世界にも類をみない超高齢社会を迎へ、加齢による感覚器の障害は、それに係る保障費や労働人口の損失等による経済面からも非常に重要な社会的課題となっている。また、耳や目が年をとっても健康であることは、高齢者の quality of life に欠かせない。臨床医学委員会感覚器分科会では、感覚器の重要性と正しい知識を啓発し、国民の健康の増進に寄与するために、毎年、市民公開講座を開催している。今回は、初めて北海道で開催することとした。加齢によって生じる耳と目の代表的な病気について取り上げ、その病態や最新の治療法について分かりやすく解説することを目的とした。さらに地方都市での開催ということを考慮して、過疎地域での遠隔医療の実際についても紹介したいと考えている。

7. 次 第：
15：00～15：05 開会の挨拶
本田 孔士*（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授（眼科））
- 15：05～15：30 再生医療による難聴の治療
伊藤 壽一*（日本学術会議連携会員、京都大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授）
- 15：30～15：55 テレビでも話題となった耳管開放症とは
小林 俊光*（日本学術会議連携会員、東北大学名誉教授（耳鼻咽喉科・頭頸部外科））

外科))

15：55～16：05 休憩

16：05～16：30 加齢黄斑変性について

坂本 泰二*（日本学術会議連携会員、鹿児島大学医学部眼科教授）

16：30～16：55 遠隔医療システムで実践している高齢者の眼科診療

吉田 晃敏（旭川医科大学学長／旭川医科大学眼科教授）

16：55～17：00 閉会の挨拶

八木 聰明*（日本学術会議連携会員、日本耳鼻咽喉科学会理事長、人間環境大學学長）

8. 関係部の承認の有無：第二部承認

(*印の講演者等は、本分科会委員)

(提案 15)

公開シンポジウム「原子力発電の社会的普及プロセスの歴史的検討」の開催について

1. 主 催 日本学術会議史学委員会、史学委員会科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会

2. 共 催 日本科学史学会

3. 日 時 平成 25 年 5 月 26 日 (日) 14:00~16:30

4. 場 所 日本大学商学部（東京都世田谷）

5. 分科会 開催予定

6. 開催趣旨

3.11 フクシマ後の原子力発電は、再生可能エネルギーの現実性と並んで、日本のエネルギー需給問題、またその安全性をめぐって現在の焦点となっている。

本シンポジウム企画は、こうした情況にかんがみて、改めて原子力や放射能に対する社会の受けとめ方、日本に導入されたその発電システムの技術的レベルでの諸問題の考察、さらにはこれに携わった科学者・技術者の原子力への対応など、これらの点に関してこれまでたどってきた普及プロセスの歴史を科学史・技術史的に検証することにある。

そして、その歴史的検証から今日学ぶべきこと、あるいは課題となっていることなどを読み取り、フロアの意見を聴取し、日本社会が今後とり行く道を見定める機会とすることを目的としている。

7. 次 第

開会挨拶 交渉中

司 会 兵藤友博*（日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授）

シンポジスト

・「戦前から戦後にかけての原子力の社会的受けとめられ方」

佐野正博*（日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授）

・原子力に関わってのこれまでの放射能の生体への影響」

横田陽子（立命館大学生存学研究センター客員研究員）

・「日本に導入された原子力（原発）システムの技術的レベルでの考察」

田中三彦（元原子炉設計技術者、サイエンスライター）

・「原子力をめぐる科学者の二重性をめぐって」

木本忠昭*（日本学術会議連携会員、東京工業大学名誉教授）

閉会挨拶：日本科学史学会会長

8. 関係部の承認の有無：第一部承認

(*印の講演者等は、本分科会委員)

提言 16、17 は別添なし